

令和4年度までに九州産業大学が実施した 「コロナ禍における学生・教職員支援および地域連携活動」について

- ・ 理事長を本部長とする「危機管理対策本部」の設置
- ・ 学生及び教職員の罹患や罹患が疑われる際の対応フローの確立
- ・ キャンパス内各所に消毒液を設置、講義室の定期的な除菌・換気
- ・ 屋外食事スペースの増設
- ・ 学生向けノートPC自動貸出ロッカー（無料）の設置
- ・ 感染拡大下においても大学として必要な業務を継続するため、授業形態の変更等、感染拡大状況に即した活動指針を規定したガイドラインの策定
- ・ オンライン授業実施に必要な各種ツール（Panopto、ZOOM等）の整備・導入
- ・ 図書館に来館せずに本が読める「電子図書館の強化」の導入
- ・ オンライン授業においても聴覚障がい学生をサポートできる「UDトーク」の導入
- ・ カウンセラーによるオンライン面談の実施（学生相談室）
- ・ オンライン三者面談（学生・保護者・教員）による修学支援
- ・ 学生食堂等でのテイクアウト商品の購入補助（to Go!キャンペーン）
- ・ 授業・学生生活・経済支援・体調不良時の対応等に関する情報のオンライン発信（本学HP・学内ポータル）
- ・ 感染症対策を講じ、安全を担保した上での課外活動（部活動・サークル・学園祭等）実施
- ・ 公開講座のオンライン実施等、感染拡大下における地域貢献活動の継続
- ・ 職域接種の実施（福岡女子大学の学生含む）
- ・ 教職員の在宅勤務・時差出勤・特別休暇等の制度の整備